

県立友部養護学校 学校長：平野 信亮

【実施日時】	平成20年12月9日(火) 9:40~13:30
【参加者と人数】	小学部3~6学年児童51名, 中学部全学年41名
【コーディネーター】	山形 正子
【講師】	田中 アルバ(ニカラグア) タスファイエ・ガライヤ(エチオピア)
【活動内容】	エチオピア出身、ニカラグア出身の2名で実施した。開始式を全体で行った後、体育館にエチオピア、ニカラグアの二つの国のブースを設置し、国旗や地図、パネル、写真や民族衣装を見たり着たりして国の説明を聞いた。その後、小学部はニカラグアの遊びピンヤター、ジャックを行い、最後に喜びの踊りをみんなで踊りとても賑やかに楽しく活動できた。中学部はエチオピアの太鼓ジャンベのたたき方やリズムや言葉を教わったりし、楽しく有意義な時間を過ごすことができた。
【参加者の感想】	<ul style="list-style-type: none"> ・すいかわりめでかくしてたたいたのがたのしかった。あるばさんときゅうしょくうれしかった。 ・けん玉をおしえてくれてうれしかったです。 ・ニカラグアはいろいろなあそびがあるんですね。ニカラグアのおんがくがすごいいきよかったです。
【担当者の感想】	<p>児童・生徒達は外国からのお客様との活動を楽しみに待っている様子が見られるようになりました。講師の国は、どこにあるのだろうと地図で見ついたり、挨拶の言葉、食べ物等、興味を持って調べる児童・生徒もいます。また、緊張することもなく、挨拶をかわしたり、握手することもでき、自然にコミュニケーションをとり国際交流をしていると感じました。</p> <p>講師は、親しみやすく、和やかな雰囲気をつくって活動を展開していました。また、国の様子をわかりやすく、お話だけでなく写真や実際に子供達が描いた絵、楽器、遊び道具、民族衣装、音楽等、直接、見たり触れたり遊びながら紹介していただき、みんな大喜びでした。外国の方と直接かわり、交流できる機会は、設定しないとなかなか経験できません。このような機会をえられましたことに感謝いたします。</p>

